

2006 年度 小委員会活動成果報告

(2007 年 2 月 27 日作成)

小委員会名	近代建築小委員会	主 査 名：内田 青蔵 就任年月：2003 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築歴史・意匠委員会	委員長名：吉田鋼市 主 査 名：
設 置 期 間	2005 年 4 月 ~ 2009 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・近代建築史研究の情報収集と意見交換の場としてのシンポジウムの開催 ・近代建築史研究の普及のための一般の人々を対象とした建築見学会の開催 ・保存・再生事例のデータベース化に関する事業の試み 	
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：無 揚村固(鹿児島女)、足立裕司(神戸大)、石田潤一郎(京都工芸大)、角幸博(北大)、千代章一郎(広大)、中川理(京都工芸大、中森勉(金沢工大)、西沢泰彦(名大)、山形政明(大阪芸大)、大川三雄(日大)、初田亨(工学院大)、藤岡洋保(東京工大)、藤谷陽悦(日大)、村松伸(東大生研)、内田青蔵(埼玉大)	
設置 WG (WG 名：目的)	「アジア近代建築ネットワーク WG」 近年盛んな、アジア近代建築史に関する情報収集と情報交換を行う	
2006 年度予算	円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	2 回(年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	1 .(書名)
講習会	1 .(名称) 参加者数 名
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	1 .(名称) 「近代建築史の最先端」 参加者数 50 名の予定 (資料名)「近代建築史の最先端」 2 .(名称) 参加者数 名 (資料名)
大会研究集会	1 .(名称) 参加者数 名 (資料名)
対外的意見表明・パブリックコメント等	1 .「緊急シンポジウム 討論 東京中央郵便局庁舎の価値」(2006/7/19) 2 .シンポジウム「三信ビルの保存に向けて 残し活用しながら新しい都市を創る」(2007/1/16)・・・ともに JIA と共同で開催
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1 .保存・再生事例のデータベース化に関しては、意見交換し、次年度の事業として具体化していくこととした。 2 .シンポジウム、一般の方々を対象とした見学会は予定通り実施できた。ただ、周知の方法などの工夫の課題が残った。 3 .委員会は、予定通りの回数であった。ただ、より活発化を目指し、次年度は回数をもう少し増やすことを検討したい。また、その際、ネット会議なども積極的に採用することを試みたい。

委員会活動の問題点 ・課題	<ol style="list-style-type: none">1. シンポジウムは、日程的にもっと早めのほうがよかった。次年度の課題である2. 一般の方々への建築見学などを行う際の、告知のシステムが議論された。次年度の課題である。3. 委員の集まる時間がなかなか取れず、委員会が開けなかった。ネット会議の実施を検討すべきである。
------------------	---

* 小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。